

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



「一人はみんなのために、みんなは一人のために」
 もとは西洋に古くからある言い回しのようなものだ。どういうわけかラグビー精神と関連がけた用い方は海外では少ないという。
 日本には「みんなのために」の精神と人生そのものに重ねたラグビー精神があるのである。
 ワールドカップでも大活躍した福岡堅樹選手。日曜日の試合で現役を退いた。
 医師を自指し順天堂大



医学部で勉学に専念する。
 コロナ禍で、医療関係の人々の仕事の重みを強じた。
 自分も人にも必要に迫る存在になりたい」と語る。
 競技生活や五輪への未練はないそうだが、楯岡球に代わり、選手者の思いを抱き進み新たな道である。



令和3年5月20日
 藤池保育園
 長年組の花育活動
 毎年花育活動については10月以後に実施するので、本年度はコロナ禍で子供達は外に出て活動したい気持ちを少しでも取り戻させることを、番花の種類とよく選択できる。五月を選びました。



公益財団法人
 瀬戸信用金庫地蔵振興協力基金
 この花育活動は協力基金による実施さされております。

